

学修成果の履修認定、成績評価、進級・卒業判定について

2025.04

1. 学修成果の履修認定、成績評価について

成績評価は原則として科目毎に1学期末、2学期末、3学期末の時点でそれぞれ評価をします。1学期(8月)、2・3学期を総合した通年評価(2月)の成績評価が各自に成績表として提示されます。

成績表にはA、B、C、Dの評価と、成績評価の客観的指標としてGPAによるポイントが記載されます。

- ① 成績評価は、授業姿勢・出席率・試験・課題提出状況・作品完成度・科目修了時のプレゼンテーション等を勘案して評価を行う。
- ② 年間授業実施時間の80%以上出席し、課題制作100%の者で、学期末試験において評価点(可)以上を合格とする。
- ③ 評価基準
A評価(優 80 ~ 100)
B評価(良 70 ~ 79)
C評価(可 60 ~ 69)
D評価(不可 0 ~ 59)※D(不可は不合格の為、追試・追課題対象)
- ④ 考查基準として、各学期末に授業実施時間の80%以上出席し、課題制作100%の者が対象となる。これ以外は学期末試験を受験できない為、追試・追課題を受けなければならない。(D評価の場合、追試験等に合格すればC評価になる。)

2. 成績評価におけるGPAについて

GPA 制度を導入し、授業科目ごとの成績を下記ポイントに数値化し、授業科目毎のポイントを合計し授業科目数で割りスコアを算出。そのスコアをもって成績分布を算出しています。

A評価(優 80 ~ 100): 4P
B評価(良 70 ~ 79): 3P
C評価(可 60 ~ 69): 2P
D評価(不可 0 ~ 59): 0P

$$(A評価 \times 4P \times 科目数) + (B評価 \times 3P \times 科目数) + (C評価 \times 2P \times 科目数) + (D評価 \times 0P \times 科目数) \div 総科目数 = スコア$$

3. 進級・卒業判定について

年度末に全校の教育課程編成委員による「進級判定会議」および「卒業判定会議」を行い、進級、卒業の認定を行います。進級、卒業認定の基準は、以下の通り。卒業資格: 卒業を許可される者は下記の条件を全て満たした者とし、年度末の卒業判定会議において審議され決定します。(校長・事務局長・教務部長・各学科長等による内容審査)

- ① 必修科目全て「C評価」以上であること。
- ② 選択必修科目において、別に定める授業時間以上満たしていること。
- ③ 進級年次は修了制作・卒年次は卒業制作が合格であること。
- ④ 出席数が科目ごとに80%以上であること。
- ⑤ 学費及びその他納付金を納めた者。

※猶予処置: 卒業資格に規定する条件を満たさない者で、その内容が専門科目に対する者で以下の条件を満たすものは卒業追試験または追課題資格が与えられる。

a. すべての科目の平均点が60点以上であること。B. 担任及び学科長が猶予処置を認めた時。C. 卒業判定会議時に猶予処置を認めた時。但し、卒業追試験または追課題を受験する者は、指定期日までに別途定める追試験料又は追課題料を添えて受験手続を行わなければならない。

出席不足の補講(一教科)4,000円、成績不良の追試又は追課題(一教科)2,000円を請求する。